

県産食材パワーでVを

J A全農岐阜 岐阜城北高野球部に贈る



岐阜城北高野球部に農畜産物を贈った桑田博之県 J A全農岐阜県本部長(右端)と内藤邦雄 J Aぎふ常務(右から2人目)＝岐阜市三田洞、同校

J A全農岐阜と J Aぎふは31日、第97回全国高校野球選手権(8月6日から15日間・甲子園球場)に出場する岐阜城北高野球部に、飛騨牛など県産の農畜産物を贈った。県産農畜産物でスタミナをつけてもらおうと企画。 J A全農岐阜は飛騨牛肉10キ、美濃ヘルシーポーク10キ、飛騨トマト40キ、飛騨ホウレンソウ18キを、

J Aぎふは岐阜市産のハツシモ100キと枝豆40キを寄贈した。岐阜市三田洞の同校で贈呈式があり、 J A全農岐阜の桑田博之県本部長は「県内の農家が日本一を目指して生産した。甲子園でもぜひ日本一を」とエールを送り、 J Aぎふの内藤邦雄常務は「練習の成果を発揮することを期待している」と激励。同校の大橋美利教頭に目録を手渡した。

式に参加した宮川敬太主将(18)は「食材をパワーに変えて、自分たちの野球ができるようにしたい」と活躍を誓った。(湯浅裕作)